

2023年度前期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	表現法	授業形態	講義 演習・実習	学科・年次	PT・1年
				曜日・時限	月曜・1限
担当教員	笠原 靖子				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介、デイリーノート、レポート、レジユメの作成が出来るようにする。自分の伝えたいことが第三者に解りやすく伝えられるように心がける。その為にも、社会人・医療人としての敬語を学ぶ。 ・グループでレクリエーションを考え、その方法をわかりやすく説明しゲームを実施する。 				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・実習に向け、自己紹介カードの作成と自己紹介の実践 ・敬語を学び実際の医療現場に必要なフレーズを学ぶ ・デイリーノートの作成 ・レクリエーションを考え、参加者へ説明しスムーズな進行ができるようにする 				
回数					担当教員
1回目	オリエンテーション：自己紹介のポイントを学び考える				笠原 靖子
2回目	実習について①：自己紹介カードの作成、グループで自己紹介を実践				笠原 靖子
3回目	実習について②：実習とは・実習の心構え				笠原 靖子
4回目	敬語①：敬語の種類、医療現場での実際の会話を学ぶ				笠原 靖子
5回目	敬語②：敬語の種類、医療現場での実際の会話を学ぶ				笠原 靖子
6回目	小テスト・まとめ・人に伝えるということ				笠原 靖子
7回目	社会人として①：最低限のマナー、学生に必要なコミュニケーション力を学ぶ				笠原 靖子
8回目	社会人として②：自分の態度・みる力(見ると診る)・きく力(聞くと聴く)				笠原 靖子
9回目	社会人として③：質問の仕方・話題の提供の仕方				笠原 靖子
10回目	社会人として④：相手から話を引き出す方法(聴く技術)・話を上手に切り上げる方法				笠原 靖子
11回目	社会人として⑤報告・相談・伝達、デイリーノートの作成について				笠原 靖子
12回目	レクリエーションを考える 1 : レクリエーションの目的・効果(レクリエーションを考える)				笠原 靖子
13回目	レクリエーションを考える 2 : グループで考え、その伝達方法をわかりやすくまとめる				笠原 靖子
14回目	レクリエーションを考える 3 : グループでレクリエーションを発表・実施、理解度の確認				笠原 靖子
15回目	まとめ・小テスト：他人に伝える表現法を学んで				笠原 靖子
教科書及び参考書	必要な資料を随時配布				
成績評価	提出物(50%)、小テスト(20%×2)、発表(10%)出席について(欠席1回3点減、遅刻1回1点減点)、態度不良も減点				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<p>見学実習や、評価実習にむけて、自己紹介から始まり、実習に必要なデイリーノートの作成を学んでいきましょう。。また、地域の健康体操をはじめ集団運動の指導等も理学療法士としての役割として今後ますます増えてきます。簡単な体操やレクリエーションの説明ができるようにしましょう。社会人としてのマナーや心構えをはじめ、理学療法士として患者さんや臨床現場における言葉使いなどを学びます。何気なく発している言葉ですが、敬語、尊敬語、丁寧語等を理解して、正しい日本語を使えるように実際の場面に出てくる言い回しを考えていきましょう。</p>					

<h1>社会学概論(1684)</h1>	<h1>大兼健寛</h1>	併修科目・必修
		1年
		月曜2限

授業のねらい	私たちが生きている社会について、それをあるがままに観察し、その仕組みについて分析するのが社会学である。また、社会学からは様々な社会問題が提起されている。この科目では社会学の考え方やその対象、社会問題等について幅広く学習する。
--------	--

教科書・資料	大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。
--------	---

設 題	レポート 1	産業化とそれによる社会の変化について述べよ。	下書	5月29日(月)授業内
	(ポイント)	近代化、産業化とは何かを明らかにした上で、それが社会全体にどのような影響を与えたかについてまとめる。	清書	7月3日(月)授業内
	レポート 2			
	(ポイント)			
	科目終了試験	学習のポイント・1 社会変動の要因について 学習のポイント・3 社会システムについて 学習のポイント・5 社会集団とその分類について		
期末試験・スクリーニング終了試験	詳細は、後日発表			

1	「社会学」という概念、近代化と産業化について
2	産業化による影響①
3	産業化による影響②
4	下書きレポート作成
5	学習のポイント・1 社会変動の要因について
6	1250字レポート作成
7	学習のポイント・3 社会システムについて&1250字レポート作成
8	学習のポイント・5 社会集団とその分類について&1250字レポート作成
9	清書レポート作成
10	社会学理論各論①
11	社会学理論各論②
12	社会学的思考実験①&1250字レポート返却
13	社会学的思考実験②
14	科目終了試験対策
15	「社会学概論(1680)」科目終了試験(持ち込み不可)
	期末試験

成績評価	出席率	30点	80%以上、出席すること。欠席1回につき-10点、遅刻1回につき-3点
	期末試験	50点	持ち込み:可、論述式
	授業内評価	20点	提出状況、授業態度等を考慮して加算する。

備考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。 レポート・学習のポイントの め 切は厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です(欠席又は遅刻扱いにします)。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます(くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます)。出席は、80%以上が求められます。80%を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクリーングへ参加することになります。
----	---

児童心理入門(1360)		木村洋太		併修科目・必修	
				PT 1年	
				月曜 4限	
授業のねらい	乳幼児・幼児期・児童期の発達心理学における最も基本的な概念、さらには認知、運動、言語などの発達の变化について概説する。本授業に置いては、特に子どもの発達や障害の基本知識を学びながら、確かな子ども観、発達観、教育観、保育観を築く基礎を養うことを目的とする。				
教科書・資料	大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。				
設 題	レポート 1 (ポイント)	1 乳幼児における認知機能の発達について述べよ。 認知機能は段階を追って発達することが知られている。対象の永続性、量や数の保存、概念の階層性などについての理解が進んでいく過程を論じること	下書	6月5日(月)	
	レポート 2 (ポイント)		清書	7月3日(月)	
	科目終了試験	2. 愛着の形成について 3. 子どもの言語獲得の過程について 5. 子どもの自己意識について	科目終了試験7月27日(月)実施予定		
	期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表			
1	発達とは何か。発達の決まりと発達段階。発達課題とは何か				
2	認知とは何か。ピアジェの認知発達理論を理解する				
3	乳児期の認知発達:対象の永続性の理解 感覚運動期とは何か				
4	概念の発達: 概念とは。保存の概念の発達。概念の階層性について				
5	幼児期の認知発達について。自己中心性。思考の特徴について				
6	下書きレポートの作成指導。				
7	学修のポイント2: 愛着形成について 講義				
8	学修のポイント2: 愛着形成について 講義とビデオ鑑賞				
9	学修のポイント2: 愛着形成について レポート作成と提出				
10	学修のポイント3: 子ども言語獲得の過程について 講義とビデオ鑑賞				
11	学修のポイント3: 子ども言語獲得の過程について レポート作成と提出				
12	学修のポイント5: 子どもの自己意識について 講義				
13	学修のポイント5: 子どもの自己意識について 講義 レポート作成と提出				
14	科目終了試験のまとめと準備				
15	「児童心理入門(1360)」科目終了試験(持ち込み不可)				
期末試験					
成績評価	出席率	30点 80%以上、出席すること。不足した場合は一般スクーリングへの参加となります。			
	期末試験	40点 持ち込み:可、論述式			
	授業内評価	30点 提出状況、授業態度を考慮して加算する。			
備考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。 レポート・学習のポイントのメッチは厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です(欠席又は遅刻扱いにします)。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます(くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます)。出席は、80%以上が求められます。80%を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。				

社会福祉入門(1010)		遠藤修正		併修科目・必修	
				PT1年	
				火曜1限	
授業のねらい	少子高齢化の進むわが国は、ますます福祉重視型の社会をめざしている。この科目では、これから福祉関係の仕事をめざす学生のために、福祉の基本や福祉に関連する職業にはどのようなものがあるのか、社会的に見て福祉とは何か、そして、福祉の職業に従事するためにはどのような資格があるのか、各々の福祉領域で必要不可欠な能力とは何か等を学修する。また、これまでの福祉理念の変遷を概観し、これからの福祉のあり方を考える。				
教科書・資料	大学指定のテキストは毎回持参することとし、他に参考資料も配付する場合がある。				
設 題	レポート1	福祉サービスの利用者を支えるためのしくみが定められた背景とそのしくみの概要について述べよ。	清書	7月4日	
	(ポイント)	措置制度の仕組みについて理解し、なぜ措置制度から契約制度へ移行するに至ったのか理由を考えること。 P14～17、P30～33、P64～74			
	科目終了試験	1. わが国の社会福祉法制について P92～109 社会福祉法を中核として、基本法やサービスに関する法律もおさえておく。 2. わが国の社会福祉行財政について P109～121 福祉行財政の実施体制と福祉計画の意義あるいは方法について把握しておく。 3. わが国における貧困をめぐる現状について P142～159 女性や子ども、高齢者など現代における貧困の現状について把握しておく。		7月25日受験予定 (後日発表)	
	期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表			
1	ガイダンス、「はじめて学ぶ社会福祉概要」				
2	「社会福祉とは何か」 1 P12～33、P75～99				
3	「社会福祉とは何か」 2 P12～33、P75～99				
4	「社会福祉の流れ」 P34～54				
5	レポート1作成の要点、まとめ				
6	下書きレポート作成				
7	科目終了試験1の対策				
8	科目終了試験1の対策 作成				
9	科目終了試験2の対策				
10	科目終了試験2の対策 作成				
11	科目終了試験3の対策				
12	科目終了試験3の対策 作成				
13	まとめ科目終了試験受験対策				
14	「社会福祉の実際」 P124～141 ※レポート3本返却				
15	科目終了試験				
	期末試験				
成績 評価	出席率	30点 80% 以上、出席すること。不足した場合は一般スクーリングへの参加となります。			
	期末試験	50点 持ち込み:可、論述式			
	授業内評価	20点 レポート・1200字のまとめの内容、提出状況、授業態度を考慮して加算する。			
備考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。				
	レポート・学習のポイントの〆切は厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です(欠席又は遅刻扱いにします)。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます(くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます)。出席は、80%以上が求められます。80%を下回ることであれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。				

2023年度前期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	生理学 I	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	PT・1年
				曜日・時限	火曜・2限
担当教員	戸苺彰史				
授業概要	生理学では、生命現象のしくみや意義を学びます。生理学を学んでおくと、専門分野の学習に役立ちます。授業は、みなさんが理解できるように「きほんのき」となる重要ポイントを中心に進めます。				
学習目標	生理学の重要ポイントが理解できるようになる。 国家試験問題が解けるようになる。				
回数					担当教員
1回目	オリエンテーション、生命現象と人体(第1章 3～12ページ)				戸苺彰史
2回目	細胞の機能と構造1(第2章 13～16ページ)				戸苺彰史
3回目	細胞の機能と構造2(第2章 16～19ページ)				戸苺彰史
4回目	神経の興奮伝導と末梢神経1(第3章 21～24ページ)				戸苺彰史
5回目	神経の興奮伝導と末梢神経2(第3章 24～26ページ)				戸苺彰史
6回目	神経の興奮伝導と末梢神経3(第3章 26～31ページ)				戸苺彰史
7回目	中枢神経系1(第4章 33～36ページ)				戸苺彰史
8回目	中枢神経系2(第4章 36～39ページ)				戸苺彰史
9回目	中枢神経系3(第4章 40～42ページ)				戸苺彰史
10回目	中枢神経系4(第4章 42～46ページ)				戸苺彰史
11回目	中枢神経系5(第4章 46～51ページ)				戸苺彰史
12回目	筋と骨1(第5章 53～57ページ)				戸苺彰史
13回目	筋と骨2(第5章 57～64ページ)				戸苺彰史
14回目	筋と骨3(第5章 64～69ページ)				戸苺彰史
15回目	まとめ				戸苺彰史
教科書及び参考書	標準理学療法学・作業療法学 生理学 第5版. 医学書院				
成績評価	定期テスト80%、確認テスト20% 欠席1回で減点3、遅刻1回で減点1				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<p>生理学は生命現象のしくみや意義を学びますが、まずは、生理学の知識の基本を押さえて、教科書の重要ポイントを理解しましょう。授業では、みなさんが理解するのに役立つようにプリントを用意してあります。プリントは毎回の授業でその都度、配布します。このプリントについては、必ず復習を行ってください。専門用語が多く出てくる生理学を理解するためには復習が不可欠です。成績は基本的に確認テストと期末テストで判断します。確認テストは毎回の授業終盤にて実施予定です。欠席1回で3点、遅刻1回につき、1点が減点されます。学生心得に従って、積極的に学んでください。授業は、私と皆さんの共同作業です。授業中、特別の許可なしに飲食、携帯・スマートフォン等の操作は厳禁です。電源を切って授業を受けてください。よろしくお願ひします。</p>					

2023年度前期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	体表解剖学 I	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	PT I・1年次
				曜日・時限	火曜日・3・4限
担当教員	PT教員				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・理学療法士に必要な知識(骨、関節、筋肉など)を教科書や標本を使いスケッチにて覚えてもらいます。 ・作成したスケッチを教員に提出しフィードバックを受け理解を深めます。 ・骨模型にテープなどを貼り立体的に理解してもらいます。 ・小テスト・復習を実施し理解を深めてもらいます。 				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ①解剖学に基づき、筋の走行を理解し特徴を説明することができる。 ②解剖学に基づき、関節を理解し特徴を説明することができる。 ③机上の知識ではなく、骨模型に正確に筋の走行を表現することができる。 ④触察に知識を活かすことができる。 				
回数		担当教員			
1回目	基礎知識の向上 骨、筋の構造及び名称 (骨盤大腿前面 スケッチ①)	村田、水野、笠原			
2回目	基礎知識の向上 骨、筋の構造及び名称 (骨盤大腿前面 スケッチ②)	村田、水野、笠原			
3回目	小テスト・応用知識の向上 触診(骨盤大腿前面① 骨)	村田、水野、笠原			
4回目	骨模型を用いて骨格及び筋肉の走行を確認(骨盤大腿前面①)	村田、水野、笠原			
5回目	応用知識の向上 触診(骨盤大腿前面② 筋)	村田、水野、笠原			
6回目	応用知識の向上 触診(骨盤大腿前面③ 筋)	村田、水野、笠原			
7回目	基礎知識の向上 骨、筋の構造及び名称 (骨盤大腿後面 スケッチ①)	村田、水野、笠原			
8回目	基礎知識の向上 骨、筋の構造及び名称 (骨盤大腿後面 スケッチ②)	村田、水野、笠原			
9回目	小テスト・応用知識の向上 触診(骨盤大腿後面① 骨)	村田、水野、笠原			
10回目	骨模型を用いて骨格及び筋肉の走行を確認(骨盤大腿後面①)	村田、水野、笠原			
11回目	応用知識の向上 触診(骨盤大腿後面② 筋)	村田、水野、笠原			
12回目	応用知識の向上 触診(骨盤大腿後面③ 筋)	村田、水野、笠原			
13回目	大腿復習①起始停止・作用・神経・骨名称等	村田、水野、笠原			
14回目	大腿復習②起始停止・作用・神経・骨名称等	村田、水野、笠原			
15回目	基礎知識の向上 骨、筋の構造及び名称 (下腿前面 スケッチ①)	村田、水野、笠原			
16回目	基礎知識の向上 骨、筋の構造及び名称 (下腿前面 スケッチ②)	村田、水野、笠原			
17回目	小テスト・骨模型を用いて骨格及び筋肉の走行を確認(下腿前面①)	村田、水野、笠原			
18回目	応用知識の向上 触診(下腿前面① 骨)	村田、水野、笠原			
19回目	応用知識の向上 触診(下腿前面② 筋)	村田、水野、笠原			
20回目	応用知識の向上 触診(下腿前面③ 筋)	村田、水野、笠原			
21回目	基礎知識の向上 骨、筋の構造及び名称 (下腿後面 スケッチ①)	村田、水野、笠原			
22回目	基礎知識の向上 骨、筋の構造及び名称 (下腿後面 スケッチ②)	村田、水野、笠原			
23回目	小テスト・骨模型を用いて骨格及び筋肉の走行を確認(下腿後面①)	村田、水野、笠原			
24回目	応用知識の向上 触診(下腿後面① 骨)	村田、水野、笠原			
25回目	応用知識の向上 触診(下腿後面② 筋)	村田、水野、笠原			
26回目	応用知識の向上 触診(下腿後面③ 筋)	村田、水野、笠原			
27回目	下腿復習①起始停止・作用・神経・骨名称等	村田、水野、笠原			
28回目	下腿復習②起始停止・作用・神経・骨名称等	村田、水野、笠原			
29回目	実技試験①	村田、水野、笠原			
30回目	実技試験②	村田、水野、笠原			
教科書及び参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・プロメテウス解剖学アトラス解剖学総論/運動器系 ・標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第5版 ・骨格筋の形と触察法 ・スケッチ：セロハンテープ、色鉛筆、はさみ、スケッチブック(B4) ・触 察：ポスカ(参考)、ハーフパンツ、バスタオル 				
成績評価	定期試験(30%)、実技試験(50%)、小テスト(20%) ※出席について(欠席1回3点減、遅刻1回1点減)				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<ul style="list-style-type: none"> ・体表解剖学は基礎中の基礎の科目です。スケッチや骨模型、触診にて骨や筋の形、部位名を覚え、どの筋によってどの関節が動くのかを理解できるよう積極的に取り組みましょう。 ・初めての医療系科目で大変だと思いますが、今後の講義に大きく影響しますのでわからないことをわからないままにせず、能動的に質問し理解を深めましょう。 ・授業進度は、理解度や感染拡大防止など必要に応じシラバスを変更することがありますのでご理解、ご協力をお願いします。 					

2023年度前期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	検査・測定法 I	授業 形態	講義・ 演習 ・実習	学科・年次	PT1
				曜日・時限	水・1限
担当教員	後藤 洋平				
授業概要	理学療法士が患者を受け持った時に初めて行うことが評価である。そして評価は理学療法介入や、理学療法終了時においても行うが、その評価の中に「検査・測定」がある。つまり「検査・測定」は理学療法士にとって基本中の基本になる。1年次では評価とは何か。また理学療法士が行う検査・測定にはどのようなものがあるかを学習する。そして実際に「検査・測定」の実技を行う。				
学習目標	①理学療法士の評価とは何かを理解する。なぜ検査、測定を行うのか理解できる。 ②評価における情報収集、検査・測定の内容を理解することができる。 ③簡単な検査・測定を実施し、内容を解釈することができる。 ④簡単な人体構造とフィジカルアセスメントを理解することができる。				
回数					担当教員
1回目	オリエンテーション、評価の意義と目的、障害の概念モデル				後藤 洋平
2回目	評価総論(記録、問題リストの整理、評価の環境)など				後藤 洋平
3回目	一般的評価事項について(医療情報・病歴・現症など)				後藤 洋平
4回目	バイタルサインについて (体温、脈拍、血圧、呼吸についての理論)				後藤 洋平
5回目	バイタルサインについて 実技講義				後藤 洋平
6回目	小テスト① (出題範囲:1回目～5回目の講義内容) まとめと振り返り				後藤 洋平
7回目	フィジカルアセスメント①(栄養について)				後藤 洋平
8回目	フィジカルアセスメント②(皮膚、褥瘡について)				後藤 洋平
9回目	フィジカルアセスメント③(排泄、浮腫について)				後藤 洋平
10回目	フィジカルアセスメント④(嚥下について)				後藤 洋平
11回目	フィジカルアセスメントまとめ(フィジカルアセスメントを用いた症例検討)、小テスト②				後藤 洋平
12回目	形態測定の意義と目的				後藤 洋平
13回目	四肢長・周径測定の意義と実技				後藤 洋平
14回目	深部腱反射について理解し、実技を通して理解を深める				後藤 洋平
15回目	今まで学習した知識の総復習				後藤 洋平
教科書及び参考書	理学療法評価学第6版(金原出版)				
成績評価	定期試験(80%)、小テスト2回(10%×2)、出席について(欠席1回3点減、遅刻1回1点減)、態度点減点あり				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
予定にない実技は事前に連絡しますが、「検査・測定」は実技がつきものです。9階治療室か8階機能訓練室での授業が多くなります。常に運動ができる用意をしておいてください。 1年生最初の実技授業です。実技授業の際は実際に患者に触れるつもりで意識を高く持って取り組んでください。そして、この授業で扱う医学的知識は2年次以降で学ぶ疾患系授業の導入的な内容になるので意欲的に勉強してください。 難しい言葉がたくさん出てきますので、その場で解決していけるように、分からないことがあれば積極的に行動してください。					

2023年度前期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	生物学	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	PT1
				曜日・時限	水曜・2限
担当教員	笠原 靖子				
授業概要	バイオテクノロジーの基礎となる知識を学び、医学でどのように使われているのかを理解します。人間の生命現象を細胞・分子レベルで理解できるよう生命体の最小単位である細胞や人間の生命維持活動に必須の分子、特にタンパク質の構造と機能について学びます。調べた事を発表したり、グループでのディスカッションも行いますので、しっかりと自分の意見を伝えてください。				
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生物学の基礎である、細胞や分子レベルを理解する。 2. バイオメカニクスがどのような分野で活用されているか理解する。 3. 三大分子(タンパク質、糖質、脂質)の構造と機能について理解する。 4. 遺伝子の基本的な構造と機能について理解する。 				
回数					担当教員
1回目	生物学とは(細胞の基本構造の理解)				笠原 靖子
2回目	生物学の基礎(細胞から組織、器官)				笠原 靖子
3回目	小テスト・まとめ・バイオテクノロジーとは				笠原 靖子
4回目	バイオテクノロジーまとめ(興味あることを調べ発表会を行います)				笠原 靖子
5回目	バイオテクノロジー発表会(小グループでの発表会です)				笠原 靖子
6回目	細胞を構成する主な分子と代表的な働き(第2幕 タンパク質の姿・働き)				笠原 靖子
7回目	細胞間、細胞内の情報伝達1(情報伝達・情報伝達の異常としてのがん)				笠原 靖子
8回目	細胞間、細胞内の情報伝達2(細胞のがん化)				笠原 靖子
9回目	小テスト・まとめ				笠原 靖子
10回目	核の構造とDNAの構造				笠原 靖子
11回目	染色体とヒトゲノム				笠原 靖子
12回目	不老不死とIPS細胞				笠原 靖子
13回目	小テスト・まとめ				笠原 靖子
14回目	グループワーク ①テーマに沿って考え、まとめる				笠原 靖子
15回目	グループワーク ②グループでの発表				笠原 靖子
教科書及び参考書	・配布資料(随時)				
成績評価	課題レポート(25%)・発表(30%)、小テスト(45%) 欠席は3点、遅刻は1点減点します。				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
生物を作っている物質から、身体の中で起きていることを考え、理解しましょう。課題レポートのテーマは、皆さんの身近な事をテーマにしますので、しっかりと調べてみてください。みなさんが授業内容を理解するのに役立つように毎回、プリントを準備し配布します。成績評価は課題レポートの提出や、授業のポイントを中心とした小テストが重要となってきます。レポートは必ず、期限を守って提出し授業後は復習の勉強も行ってください。授業でわからないところがあれば、その都度、質問をして解決するようにしてください。成績評価については、上記に記した通りです。					

2023年度前期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	理学療法概論(基礎)	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	PT I・1年次
				曜日・時限	水曜・4限
担当教員	水野 靖廣、笠原 靖子				
授業概要	理学療法概論では、理学療法士とは何か、役割、理学療法に必要な知識や主対象などを学習します。本講義では、理学療法の全体像をつかむだけでなく、理学療法のおもしろさややりがいを知り、各自が「理想の理学療法士像」をイメージできるようにします。理想の理学療法をイメージし今後の学習意欲の向上を目指します。				
学習目標	①理学療法概要、理学療法士の役割を理解する。 ②理学療法の歴史・分類などの背景を理解する。 ③理学療法の構成、必要な知識と実習を理解する。 ④理学療法士の主な対象(中枢、運動器、内部、がん疾患)を理解する。 ⑤病期・職業別の理学療法を理解する。				
回数		担当教員			
1回目	理学療法概要(理学療法の定義、主な分野、学習への取り組み、職業の魅力など)				笠原靖子、水野靖廣
2回目	理学療法の背景(1)障害の概念・分類、保険制度(障害とは、保険制度など)				笠原靖子、水野靖廣
3回目	理学療法の背景(2)歴史・法律、職業倫理、PT協会(理学療法の歴史、倫理など)				笠原靖子、水野靖廣
4回目	理学療法の構成(障害分類、理学療法の流れ、主対象、病期別、専門分野など)				笠原靖子、水野靖廣
5回目	理学療法に必要な知識と実習(標準的な科目、学習への取り組みなど)				笠原靖子、水野靖廣
6回目	理学療法の主対象① 中枢神経系(脳血管疾患、神経難病、小児疾患など)				笠原靖子、水野靖廣
7回目	理学療法の主対象② 運動器系(骨折、関節リウマチ、末梢神経損傷、など)				笠原靖子、水野靖廣
8回目	理学療法の主対象③ 内部障害系(呼吸器疾患、循環器疾患、代謝疾患など)				笠原靖子、水野靖廣
9回目	理学療法の主対象④ がん、介護予防(疾患動向、高齢者を取り巻く制度など)				笠原靖子、水野靖廣
10回目	病期・職業別の理学療法①—急性期(集中治療室で治療中の患者、合併症など)				笠原靖子、水野靖廣
11回目	病期・職業別の理学療法②—回復期(脳血管障害、運動器疾患の回復期など)				笠原靖子、水野靖廣
12回目	病期・職業別の理学療法③—生活期(超高齢社会問題など)				笠原靖子、水野靖廣
13回目	病期・職業別の理学療法④—在宅における役割(在宅医療と訪問理学療法士など)				笠原靖子、水野靖廣
14回目	病期・職業別の理学療法⑤—行政における役割(行政と保険の関係など)				笠原靖子、水野靖廣
15回目	まとめ及び確認問題				笠原靖子、水野靖廣
教科書及び参考書	15レクチャーシリーズ 理学療法テキスト 理学療法概論 石川 朗				
成績評価	定期テスト80%、確認テスト20%、出席(欠席1回3点減点、遅刻1回1点減点)				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<p>座学のみでなく実技を交えて展開していきます。そのため皆さんの協力が必要となります。</p> <p>理学療法概論は理学療法において基礎となる範囲で皆さんの理想の理学療法士像をイメージする非常に重要な講義です。また、保険制度や疾患、病期などは実習や国家試験でも問われる内容です。楽しみながら集中して1回1回の授業を受講して下さい。</p> <p>また、授業内容及び進度は皆さんの理解度など必要に応じ変更する場合があります。その際は事前に連絡します。</p>					

心理学概論(1673/1674)		橋本香織		併修科目・必修	
				1年	
				PT・OT木曜1限	
授業のねらい	現代社会が抱えるさまざまな問題を心理学の観点からアプローチできるようここでは心理学全体を見渡すことを目的とする。そこで、心理学とは何か、から始まり、心理学分野を「心の仕組み」、「心の問題を紐解く」、「心のケアと支援」、という3つの大きな領域から考え、心理学の成り立ち、人の心の基本的な仕組み及び働きについて学修していく。本科目を学ぶことで、心理学とはどのような学問か、その成り立ち体系を知ることができ、かつ考え方が理解できる。				
教科書・資料	大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。				
設 題	レポート 1	各発達段階の特徴について述べよ。		下書	5月25日(木)
	(ポイント)	乳幼児期、児童期、青年期、壮年期、老年期など発達段階特有の身体的・心理的特徴について述べ、さらに発達段階でどんな問題行動があるか考察し、その対処法について述べること。		清書	7月6日(木)
	レポート 2				
	(ポイント)				
	科目終了試験	1. 人間の感覚・知覚・認知の特質について 2. 人格の諸理論について 3. 心理療法について		科目終了試験7月20日(木)実施予定	
期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表				
1	オリエンテーション・心理学とは何か?				
2	発達心理学: 発達の定義、ライフサイクル理論、乳幼児期・幼児期・児童期の心身の発達と課題				
3	発達心理学: 青年期の心身の課題と発達 アイデンティティとは何か				
4	発達心理学: 成人期・老年期の心身の発達と課題				
5	下書きレポート作成				
6	学修のポイント2 : 人間の感覚・知覚・認知の特質				
7	学修のポイント2 : 人間の感覚・知覚・認知の特質 レポート作成(6月1日授業後提出)				
8	学修のポイント1 : 人格の諸理論について				
9	学修のポイント1 : 人格の諸理論について レポート作成(6月15日授業後提出)				
10	学修のポイント6 : 心理療法について				
11	学修のポイント6 : 心理療法について レポート作成(6月29日授業後提出)				
12	日常生活と心の健康 清書レポート作成(7月6日授業後提出)				
13	心のケアと支援				
14	講義のまとめ、科目終了試験 解説				
15	「心理学概論」科目終了試験(持ち込み不可)				
期末試験					
成績評価	出席率	30点	80%以上、出席すること。		
	期末試験	50点	持ち込み:可、論述式		
	授業内評価	20点	レポート・1200字レポートのまとめの内容、提出状況、授業態度を考慮して加算する。		
備考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。				
	レポート・学習のポイントのメッチは厳守してください。 授業中、無断の携帯電話の使用、私語、飲食、居眠りは厳禁です(欠席又は遅刻扱いにします)。 出席は、80%以上が求められます。80%を下回る場合は、課題の提出または一般スクーリングへ参加することになります。				

2023年度前期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	運動学 I	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	PT I・1年次
				曜日・時限	木曜・2限
担当教員	水野 靖廣				
授業概要	理学療法士の対象は多岐にわたりますが、目的の一つとして「基本的動作能力の回復を図る」ことが挙げられます。基本的動作能力を回復させるためには、人体の構造を理解し適切なアプローチをする必要があります。今回学ぶ運動学はその基盤となる学問です。知識を深め異常運動から原因を分析する能力を身に付け改善、回復を促せるスペシャリストを目指します。				
学習目標	①身体運動に必要な力学の基礎知識を理解する。 ②可動関節の分類と関節運動学に基づく関節包内運動を理解する。 ③骨格筋の基本構造と収縮様式を理解する。 ④各関節運動の靭帯および筋の作用を理解する。 ⑤国家試験の出題範囲および内容を理解する。				
回数					担当教員
1回目	運動器の構造と機能① 骨運動学に基づく運動と関節方内運動について				水野 靖廣
2回目	運動器の構造と機能② 関節運動方向、骨格筋について				水野 靖廣
3回目	上肢 概要、構造、関節運動、筋① 肩関節複合体の構造を理解する				水野 靖廣
4回目	上肢 概要、構造、関節運動、筋② 肩関節複合体の関節運動を理解する				水野 靖廣
5回目	上肢 概要、構造、関節運動、筋③ 肩関節複合体の関節運動を理解する				水野 靖廣
6回目	上肢 概要、構造、関節運動、筋④ 肘関節複合体の構造を理解する				水野 靖廣
7回目	上肢 概要、構造、関節運動、筋⑤ 肘関節複合体の関節運動を理解する				水野 靖廣
8回目	上肢 確認テスト まとめ及び共有				水野 靖廣
9回目	下肢 概要、構造、関節運動、筋① 股関節複合体の構造を理解する				水野 靖廣
10回目	下肢 概要、構造、関節運動、筋② 股関節複合体の関節運動を理解する				水野 靖廣
11回目	下肢 概要、構造、関節運動、筋③ 膝関節複合体の構造を理解する				水野 靖廣
12回目	下肢 概要、構造、関節運動、筋④ 膝関節複合体の関節運動を理解する				水野 靖廣
13回目	下肢 概要、構造、関節運動、筋⑤ 足関節の構造と関節運動を理解する				水野 靖廣
14回目	下肢 確認テスト まとめ及び共有②				水野 靖廣
15回目	まとめ、定期試験対策				水野 靖廣
教科書及び参考書	基礎運動学 第6版 補訂(中村 隆一著、医歯薬出版株式会社)				
成績評価	定期テスト80%、確認テスト20%、出席(欠席1回3点減点、遅刻1回1点減点)				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
座学のみでなく実技を交えて展開していきます。そのため皆さんの協力が必要となります。 運動学は解剖学、生理学に並び理学療法において「要」となる学問です。当然、国家試験においても出題率が非常に高いです。また、起居動作、歩行、応用動作などの基礎を1年次は学んでいきます。運動学の基礎が理解出来ないと今後の講義が全く理解出来なくなります。運動学の重要性を理解し積極的に取組み1回1回の授業を大切にしてください。 なお、授業内容及び進度は皆さんの理解度や感染症の状況などで随時変更する場合があります。その際は事前に連絡します。					

ボランティア論(1151)	大兼健寛	併修科目・必修
		PT1年
		木曜3限目

授業のねらい 「何か自分たちにもできることがあるに違いない」、「他者や社会の助けになりたい」という内的動機に支えられた活動には、そのための準備、トレーニング、実践体験の裏づけが必要である。ボランティアについての基礎理論を学習した上で、現場でのニーズの把握、適切な組織構成などの実践理論を、様々な過去のボランティア活動(災害援助活動、社会福祉活動など)を基に学習し、より効果的なボランティア活動を行う上で必要なことをディスカッションを交えながら考察していく。

教科書・資料	大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。			
設 題	レポート 1	「ボランティア活動」の自発性とボランティア活動を推進するNPOの関係について述べよ。	下書き	5月18日(木)授業内
	(ポイント)	ボランティアの核となるボランタリズムを支える自発性について述べ、歴史的展開についても言及すること。また、現代社会においてNPOが担う役割や意義を明確にしなが ら、自己の体験や考えについても述べること。	清書	6月22日(木)授業内
	レポート 2		下書き	
	(ポイント)		清書	
	科目終了試験	2.高齢者とボランティアの関係について 3.ボランティアと行政の関係について 6.ボランティア活動を行う際の留意点について	科目終了試験 7月20日(木) 実施予定	
	期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表		

1	ボランティアの構成要素
2	ボランティアの歴史的展開
3	NPOの役割と意義
4	まとめ&下書きレポート作成①
5	下書きレポート作成②
6	学習のポイント・2 高齢者とボランティアの関係性について
7	学習のポイント・2 レポート作成&提出〆切
8	学習のポイント・3 ボランティアと行政について&レポート作成
9	清書レポート作成①
10	清書レポート作成②
11	学習のポイント・6 ボランティア活動を行う際の留意点について
12	学習のポイント・6 レポート作成&提出〆切
13	科目終了試験対策
14	「ボランティア論(1151)」科目終了試験(持ち込み不可)
15	グループワークとディスカッション
	期末試験

成績評価	出席率	30点 80%以上出席すること。欠席は-10点。遅刻は-3点。
	期末試験	50点 持ち込み:可、論述式
	授業内評価	20点 レポート・1250字のまとめの内容、提出状況、授業態度を考慮して加算する。

備考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。
	レポート・学習のポイントの〆切は厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中、無断で携帯電話を使用すること、飲食や居眠りすることは絶対厳禁です(欠席又は遅刻扱いにします)。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます(くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます)。出席は、80%以上が求められます。80%を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。

中国の文化と言語 I (1111)		大兼健寛		併修科目・必修	
				PT1年	
				木曜4限	
授業のねらい	中国の言語・文化について、古典から現代中国社会に至るまでを幅広く紹介していく。				
	現代中国語については、自己紹介や軽い会話などが成立する程度には習得してもらう。				
	メインとしては、中国の古典漢籍の訓読・現代語訳を読み、中国を中心とする東洋的思想や文学に触れ、また、様々な時代の文献に目を通し、中国の雄大な歴史の一端を垣間見てほしい。				
	教科書・資料	大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。			
	設 題	レポート 1	テーマをひとつ提示し、中国の二つの国・王朝を対比させて述べよ。	下書	6月1日(木)授業内
(ポイント)		テーマは政治・経済・文化・民族・風習から、何を取り上げてもよい。講義中の資料以外からも、様々なメディアから情報を精査し、レポートに取り入れて宜しい。ただし、剽窃などに抵触しないよう、注意すること。	清書	7月13日(木)授業内	
レポート 2			/		
(ポイント)					
科目終了試験	学習のポイント・2 第8課の会話を日本語に訳し、万里の長城について述べよ。 学習のポイント・3 第9課の会話を日本語に訳し、首都北京について述べよ。 学習のポイント・6 第13課の会話を日本語に訳し、中国の食文化について述べよ。			科目終了試験7月20日(木)実施予定	
期末試験・スクリーニング修了試験	詳細は、後日発表。				
1	オリエンテーション、中国思想の象徴「儒教」とは？				
2	中国の文化①				
3	中国の文化②				
4	中国の文化③				
5	中国文化と東洋文化、下書きレポート①				
6	下書きレポート作成②				
7	学習のポイント・2 万里の長城について				
8	学習のポイント・2 レポート作成&提出締切				
9	学習のポイント・3 首都北京について				
10	学習のポイント・3 レポート作成&提出締切				
11	清書レポート作成				
12	学習のポイント・6 中国の食文化について				
13	学習のポイント・6 レポート作成&提出締切				
14	中国の文化・歴史・文学				
15	「中国の文化と言語(1111)」科目終了試験(持ち込み不可)				
	期末試験				
成績評価	出席率	30点 80% 以上、出席すること。欠席1回で-10点、遅刻1回で-3点。			
	期末試験	50点 論述式、持ち込み:可			
	授業内評価	20点 レポート・1200字のまとめの内容、提出状況、授業態度を考慮して評価する。			
備考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。				
	レポート・学習のポイントの〆切は厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です(欠席又は遅刻扱いにします)。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます(くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます)。出席は、80%以上が求められます。80%を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクリーニングへ参加することになります。				

2023年度前期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	解剖学 I	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	PT I・1年
				曜日・時限	金曜日・1時限
担当教員	王 静舒				
授業概要	解剖学は正常な人体の形態と構造を研究する学問である。 解剖学 I では、解剖学総論(組織学と発生学を含む)及び感覚器系、内臓学(循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、生殖器系及び内分泌系)を分担する。 人体および人体を構成している細胞・組織・器官の形態・構造の基本知識を系統的に学ぶ。臓器の働きを理解する基礎を作る。				
学習目標	①細胞の基本構造を理解して、臓器に関する学習に確実な基礎を作る。 ②人体の発生については、胚子期における形態変化を学ぶ。 ③感覚器系では、表皮、視覚器、平衡聴覚器の構造を身に付ける。 ④循環器系では、心臓、及び全身の動・静脈系の概論を学ぶ。 ⑤呼吸器系では、ガス交換にかかわる肺と気管支の構造を理解する。 ⑥消化器系では、胃、腸等全長約9mの消化管の構造を理解する。 ⑦泌尿器系では、排尿にかかわる構造体の全容を理解する。 ⑧男性・女性の生殖器では、基本構造を理解する。 ⑨内分泌系では、各内分泌腺の特徴を学ぶ。				
回数					担当教員
1回目	解剖学総論 (Page3-8) : 解剖学の定義・用語①、人体の区分・腔所①				王 静舒
2回目	人体の構成 (Page9-20) : 細胞の構成要素、人体の組織				王 静舒
3回目	人体の発生 (Page21-36) : 胚子の発生、器官系の発生①				王 静舒
4回目	感覚器系 I (Page319-331) : 表皮と真皮①、視覚器①、嗅覚器と味覚器①				王 静舒
5回目	感覚器系 II (Page319-331) : 平衡聴覚器①				王 静舒
6回目	内臓器系 I 内臓器官の基本構造 (Page333-334) : 中空性・実質性器官の特徴 内臓器系 II 循環器系 (P335-340) : 血管系と心臓の基本構造①				王 静舒
7回目	内臓器系 II 循環器系 (Page341-350) : 動脈系①				王 静舒
8回目	内臓器系 II 循環器系 (Page350-359) : 静脈系①、胎生期の循環系とリンパ系				王 静舒
9回目	内臓器系 III 呼吸器系 (Page360-366) : 鼻、咽頭と喉頭の構造①、発声の仕組み①				王 静舒
10回目	内臓器系 III 呼吸器系 (Page366-369) : 気管と気管支、肺、胸膜と縦隔の構造①				王 静舒
11回目	内臓器系 IV 消化器系 (Page370-373) : 口腔、唾液腺、咽頭及び食道の構造①				王 静舒
12回目	内臓器系 IV 消化器系 (Page373-380) : 胃・腸の構造①、消化腺(肝臓)・胆嚢の構造及び機能①				王 静舒
13回目	内臓器系 V 泌尿生殖器系 (Page384-389) : 腎臓の構造①、尿路の構成①				王 静舒
14回目	内臓器系 V 泌尿生殖器系 (Page390-396) : 男性生殖器①、女性生殖器①、付属生殖腺①				王 静舒
15回目	内臓器系 VI 内分泌 (Page398-400) : 下垂体、松果体、甲状腺、上皮小体、副腎、膵島、視床下部及び腎臓・消化管の内分泌機能①				王 静舒
教科書及び参考書	標準理学療法学・作業療法学 解剖学(第5版)(医学書院)				
成績評価	期末試験(筆記試験)(60%)、授業内確認テスト(15%)及び提出課題(10%)、出席(15%)などで総合的評価				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
①授業前、予習が大事！初耳の言葉を繰り返し音読してみよう ②授業中、配布資料にメモ&ノートをしっかり記録しましょう。授業内容理解に努めましょう ③授業中、質問に対して積極的に考えて答えましょう ④授業後、授業内容を振り替えながら、配布資料を完成しましょう ⑤毎日朝昼晩、最低10分間、解剖学の暗記時間を設けてみましょう ⑥毎回授業前の小テストを真面目に挑んでみましょう					

2023年度前期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	解剖学Ⅱ	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	PTⅠ・1年
				曜日・時限	金曜日・2時限
担当教員	王 静舒				
授業概要	解剖学Ⅱでは、解剖学総論で学習した人体を構成している細胞・組織・器官の基本知識を利用して、感覚器系、循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、生殖器系及び内分泌系の正常な構造を学んで、機能との関連性を理解する。				
学習目標	①組織の構成を理解して、臓器に関する学習に確実な基礎を作る。 ②人体の発生については、外・中・内胚葉のどこから分化するかを理解する。 ③感覚器系では、基本構造を元に基本機能を理解する ④循環器系では、心臓と、脳・上肢・下肢への血液供給を理解する。 ⑤呼吸器系では、発声にかかわる喉頭について理解する。肺の構造を理解する。 ⑥消化器系では、唾液腺・肝臓などの消化腺の構造を理解する。 ⑦泌尿生殖器系の発生、腎臓の構造を理解する。 ⑧男性・女性の生殖器系では、勃起と射精にかかわる構造体・卵巣と子宮の性周期における変化を理解する。 ⑨内分泌系では、ホルモンとその主要作用を理解する。				
回数					担当教員
1回目	解剖学総論 (Page3-8) : 解剖学の定義・用語②、人体の区分+B17:H31・腔所②				王 静舒
2回目	人体の構成 (Page9-20) : 細胞の分裂、器官・器官系・個体				王 静舒
3回目	人体の発生 (Page21-36) : 器官系の発生②、外・中・内胚葉				王 静舒
4回目	感覚器系Ⅰ (Page319-331) : 表皮と真皮②、視覚器②、嗅覚器と味覚器②				王 静舒
5回目	感覚器系Ⅱ (Page319-331) : 平衡聴覚器②				王 静舒
6回目	内臓器系Ⅱ循環器系 (P335-340) : 血管系と心臓の基本構造②				王 静舒
7回目	内臓器系Ⅱ循環器系 (Page341-350) : 動脈系②				王 静舒
8回目	内臓器系Ⅱ循環器系 (Page350-359) : 静脈系②				王 静舒
9回目	内臓器系Ⅲ呼吸器系 (Page360-366) : 咽頭と喉頭の構造②、発声の仕組み②				王 静舒
10回目	内臓器系Ⅲ呼吸器系 (Page366-369) : 気管と気管支、肺、胸膜と縦隔の構造②				王 静舒
11回目	内臓器系Ⅳ消化器系 (Page370-373) : 口腔、唾液腺、咽頭及び食道の構造②				王 静舒
12回目	内臓器系Ⅳ消化器系 (Page373-380) : 胃・腸の構造②、消化腺 (肝臓)・胆嚢の構造及び機能②				王 静舒
13回目	内臓器系Ⅴ泌尿生殖器系 (Page384-389) : 腎臓の構造②、尿路の構成②、泌尿器系の発生				王 静舒
14回目	内臓器系Ⅴ泌尿生殖器系 (Page390-396) : 男性生殖器②、女性生殖器②、付属生殖腺②				王 静舒
15回目	内臓器系Ⅵ内分泌 (Page398-400) : 下垂体、松果体、甲状腺、上皮小体、副腎、膵島、視床下部及び腎臓・消化管の内分泌機能②				王 静舒
教科書及び参考書	標準理学療法学・作業療法学 解剖学 (第5版) (医学書院)				
成績評価	期末試験 (筆記試験) (60%)、授業内確認テスト (15%) 及び提出課題 (10%)、出席 (15%) などで総合的評価				
学生へのメッセージ (受講上の留意点)					
①授業前、予習が大事！初耳の言葉を繰り返し音読してみよう ②授業中、配布資料にメモ&ノートをしっかり記録しましょう。授業内容理解に努めましょう ③授業中、質問に対して積極的に考えて答えましょう ④授業後、授業内容を振り替えながら、配布資料を完成しましょう ⑤毎日朝昼晩、最低10分間、解剖学の暗記時間を設けてみましょう ⑥毎回授業前の小テストを真面目に挑んでみましょう					

2023年度前期 理学・作業名古屋専門学校

科目名	リハビリテーション医学概論 I	開講年次	PT1前期	金曜 4限
担当教員	村田薫克			
講義概要	リハビリテーションの理念をはじめとして、成立過程、障害者の実態、評価、治療などについて講義をする。			
学習目標	リハビリテーション医学・医療が対象としている障害者は、複数の併存疾患をもつ高齢者や、難病を抱える人々が多くなり、社会的に自立生活を営むことが一層困難になっている。そこで、①障害者復権の哲学、②社会復帰をめざす目標を実現するためのリハビリテーション技術、③病気に対する集学的アプローチと障害者に対する評価や治療アプローチ、④広範な社会福祉に関する知識などの理解・修得を学習目標とする。			
回数				担当教員
1回目	リハビリテーションの理念(定義、障害者の復権とその源泉、)			村田薫克
2回目	リハビリテーションの対象と障害者の実態1(主な疾患について)			村田薫克
3回目	リハビリテーションの対象と障害者の実態2(主な疾患と関連職種について)			村田薫克
4回目	リハビリテーションの対象と障害者の実態3(主な疾患と関連職種について)			村田薫克
5回目	障害の階層とアプローチについて1(ICFの分類とアプローチ)			村田薫克
6回目	障害の階層とアプローチについて2(ICFの分類とアプローチ)			村田薫克
7回目	リハビリテーション評価学1(障害の評価、主訴から既往歴、問題志向型診療等)			村田薫克
8回目	リハビリテーション評価学2(障害の評価、主訴から既往歴、問題志向型診療等)			村田薫克
9回目	リハビリテーション評価学3(身体計測、運動学、身体所見について、実技も含む)			村田薫克
10回目	リハビリテーション評価学4(身体計測、運動学、身体所見について、実技も含む)			村田薫克
11回目	リハビリテーション評価学5(障害について:運動機能、感覚、疼痛等)			村田薫克
12回目	リハビリテーション評価学6(障害について:運動機能、感覚、疼痛等)			村田薫克
13回目	リハビリテーション治療学(基本的な治療とリスク管理について)			村田薫克
14回目	災害医学とリハビリテーション			村田薫克
15回目	総復習			村田薫克
教科書及び参考書	学生のためのリハビリテーション医学概論 第2版 医歯薬出版社 配布プリント			
教授方法	ディスカッションと発表も実施する			
教材	特になし			
成績評価	本試験(70%)、提出物(30%) 出席率、態度は減点いたします(欠席1回3%減、遅刻1回1%減)、等			
学生へのメッセージ(受講に際する留意点など)				
<ul style="list-style-type: none"> ・ グループディスカッションを取り入れた授業で、自ら学びリハビリテーション医学についての知識を広めていきましょう。 ・ 2年生では、整形外科学や内科学などを学びます。少しでも医学的な単語になれば、スムーズに学習していける基礎的な知識を身につけてほしいと考えます。そのため広く多くの事を説明しますが、完璧に理解する必要はなく、多くの科目でさらに詳細に学習していきます。まず、リハビリテーションとはどんなものなのかを簡単に頭に入れ、今後の道しるべになるよう勉強していきましょう。 ・ また、実技も取り入れて行きますので、頭と体しっかりと使い多くの事を覚えていただければと思います。 				